



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 百済 徳男
 (氏名) 澤中 義和

TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	49,399	2.5	1,732	2.4	1,718	0.6	1,301	5.3
23年3月期第1四半期	48,182	△2.1	1,692	13.7	1,708	17.2	1,236	23.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,243百万円 (84.4%) 23年3月期第1四半期 674百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	10.02	—
23年3月期第1四半期	9.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	119,760	64,906	53.0
23年3月期	117,104	64,710	54.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 63,489百万円 23年3月期 63,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	101,000	1.9	3,300	1.7	3,300	0.5	2,700	0.2	20.78
通期	205,000	3.1	5,800	1.3	5,900	1.3	3,900	1.2	30.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	132,527,909 株	23年3月期	132,527,909 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,619,216 株	23年3月期	2,619,191 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	129,908,706 株	23年3月期1Q	132,270,980 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による生産活動や個人消費の落ち込み等から持ち直しつつあるものの、電力供給不足問題などから、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、お客様の節約志向の一層の高まりにより、商品の低価格化が進行する穏やかなデフレ市況が続く中、原材料価格が上昇するなど厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」のもと、より安全で安心な食品の提供に努める一方、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」の諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比2.5%増の493億99百万円、営業利益は前年同四半期比2.4%増の17億32百万円、経常利益は同0.6%増の17億18百万円、四半期純利益は同5.3%増の13億1百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	34,989	36,100	1,110 (3.2%)	1,519	1,641	121 (8.0%)
食肉事業	13,095	13,185	89 (0.7%)	131	37	△94 (△71.8%)
その他	97	113	16 (17.3%)	41	54	13 (31.6%)
合計	48,182	49,399	1,217 (2.5%)	1,692	1,732	40 (2.4%)

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	20,901	21,491	589 (2.8%)
調理・加工食品	14,088	14,609	521 (3.7%)

①加工食品事業

震災や節電対応の影響により内食向け需要が堅調に推移する中、ハム・ソーセージ部門では、主力ブランドの「燻製屋熟成ウインナー」の売上拡大を図ると共に、内食志向に対応した積極的なメニュー提案の実施などにより「いつも新鮮ロースハム」や「切落し生ハム」などの販売拡大に努めました結果、当部門の売上高は、前年同四半期比2.8%の増収となりました。

調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」や「旨味工房カレー」などのレトルト商品の売上が堅調に推移しました。また、デザート類は「SWEET CAFE」シリーズ、飲料類では「TAPIOKA TIME」シリーズのラインナップの充実を図り、売上拡大に努めました結果、当部門の売上高は、前年同四半期比3.7%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比3.2%増の361億円となりました。営業利益は、原材料・燃料価格が上昇するなど厳しい環境下にありましたが、増収効果に加え、コストダウンによる生産性改善効果などから、前年同四半期比8.0%増の16億41百万円となりました。

②食肉事業

お客様の低価格商品志向は依然として強く、価格帯の高い牛肉の需要が伸び悩む中、相場も震災影響などにより軟調に推移しましたことから、牛肉の売上は低迷しました。このような中、相場が比較的堅調に推移しました豚肉の売上拡大に努めました結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比0.7%増の131億85百万円となりましたが、営業利益は、輸入食肉販売の収益性悪化などから、前年同四半期比71.8%減の37百万円となりました。

③その他事業

その他事業の売上高は前年同四半期比17.3%増の1億13百万円、営業利益は前年同四半期比31.6%増の54百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増 減
総 資 産	117,104	119,760	2,655
負 債	52,394	54,853	2,458
純 資 産	64,710	64,906	196
自 己 資 本 比 率	54.1 %	53.0 %	△ 1.1 %

当第1四半期連結会計期間における総資産は、有形固定資産が7億円減少しましたが、受取手形及び売掛金が19億15百万円増加したほか、たな卸資産が11億29百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて26億55百万円増加し、1,197億60百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が19億94百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて24億58百万円増加し、548億53百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当金10億39百万円の支払いがありましたが、四半期純利益13億1百万円の計上などにより前連結会計年度に比べて1億96百万円増加し、649億6百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度に比べて1.1%減少し、53.0%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	248	2,258	2,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 840	△ 1,137	△ 296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,731	△ 1,666	65
現金及び現金同等物の期末残高	8,295	13,038	4,742

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及びたな卸資産の増加などによる減少要因がありましたが、仕入債務の増加や税金等調整前四半期純利益の計上などから、22億58百万円増加(前年同四半期に比べ20億10百万円増加)しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、11億37百万円減少(前年同四半期に比べ2億96百万円支出増加)しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや借入金及びリース債務の返済による支出などから、16億66百万円減少(前年同四半期に比べ65百万円支出減少)しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億44百万円減少(前年同四半期に比べ47億42百万円増加)し、130億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,619	13,075
受取手形及び売掛金	19,921	21,836
商品及び製品	6,085	7,142
仕掛品	654	610
原材料及び貯蔵品	7,857	7,973
繰延税金資産	1,895	1,918
その他	662	1,234
貸倒引当金	△61	△54
流動資産合計	50,633	53,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,509	45,197
減価償却累計額	△29,918	△29,844
建物及び構築物 (純額)	15,591	15,353
機械装置及び運搬具	42,326	42,854
減価償却累計額	△33,682	△34,246
機械装置及び運搬具 (純額)	8,643	8,607
工具、器具及び備品	5,148	5,059
減価償却累計額	△3,475	△3,398
工具、器具及び備品 (純額)	1,672	1,660
リース資産	8,693	8,500
減価償却累計額	△3,448	△3,562
リース資産 (純額)	5,245	4,937
土地	19,097	18,715
建設仮勘定	130	405
有形固定資産合計	50,381	49,680
無形固定資産		
投資その他の資産	826	766
投資有価証券	8,758	8,485
関係会社株式	—	53
長期貸付金	147	154
繰延税金資産	55	56
その他	6,656	7,196
貸倒引当金	△353	△368
投資その他の資産合計	15,264	15,576
固定資産合計	66,471	66,024
資産合計	117,104	119,760

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,178	20,172
短期借入金	4,533	4,586
1年内返済予定の長期借入金	7,950	7,821
未払法人税等	706	259
未払消費税等	381	407
リース債務	1,346	1,276
賞与引当金	1,101	1,896
その他	6,500	7,148
流動負債合計	40,698	43,567
固定負債		
長期借入金	5,153	4,988
繰延税金負債	1,541	1,522
退職給付引当金	548	556
リース債務	3,965	3,726
その他	486	492
固定負債合計	11,696	11,286
負債合計	52,394	54,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	34,277	34,539
自己株式	△697	△697
株主資本合計	61,982	62,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,505	1,333
繰延ヘッジ損益	0	△5
為替換算調整勘定	△92	△83
その他の包括利益累計額合計	1,414	1,245
少数株主持分	1,313	1,416
純資産合計	64,710	64,906
負債純資産合計	117,104	119,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	48,182	49,399
売上原価	35,470	36,635
売上総利益	12,712	12,763
販売費及び一般管理費	11,019	11,031
営業利益	1,692	1,732
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	18	5
不動産賃貸料	46	43
その他	125	111
営業外収益合計	197	167
営業外費用		
支払利息	125	108
その他	56	72
営業外費用合計	181	181
経常利益	1,708	1,718
特別利益		
固定資産処分益	1	10
負ののれん発生益	—	19
特別利益合計	1	29
特別損失		
固定資産処分損	32	42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
投資有価証券評価損	1	4
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	72	46
税金等調整前四半期純利益	1,637	1,701
法人税、住民税及び事業税	248	219
法人税等調整額	56	69
法人税等合計	305	289
少数株主損益調整前四半期純利益	1,331	1,412
少数株主利益	95	110
四半期純利益	1,236	1,301

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,331	1,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△682	△172
繰延ヘッジ損益	△8	△5
為替換算調整勘定	34	9
その他の包括利益合計	△657	△168
四半期包括利益	674	1,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	578	1,132
少数株主に係る四半期包括利益	95	110

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,637	1,701
減価償却費	1,486	1,428
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△191	△212
受取利息及び受取配当金	△25	△11
支払利息	125	108
固定資産処分損益(△は益)	31	32
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1	4
売上債権の増減額(△は増加)	△1,759	△1,915
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,728	△1,127
仕入債務の増減額(△は減少)	1,872	1,970
未払消費税等の増減額(△は減少)	△134	24
その他	192	883
小計	516	2,893
利息及び配当金の受取額	129	140
利息の支払額	△59	△61
法人税等の支払額	△339	△714
営業活動によるキャッシュ・フロー	248	2,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
投資有価証券の売却による収入	0	—
固定資産の取得による支出	△928	△1,228
固定資産の売却による収入	11	104
関係会社株式の取得による支出	—	△53
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	5
その他	84	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△840	△1,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△96	40
長期借入金の返済による支出	△352	△295
リース債務の返済による支出	△351	△367
配当金の支払額	△925	△1,039
その他	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,731	△1,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,319	△544
現金及び現金同等物の期首残高	10,615	13,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,295	13,038

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,989	13,095	48,085	97	48,182	—	48,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	213	213	△213	—
計	34,989	13,095	48,085	310	48,396	△213	48,182
セグメント利益	1,519	131	1,651	41	1,692	—	1,692

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,100	13,185	49,285	113	49,399	—	49,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	338	338	△338	—
計	36,100	13,185	49,285	452	49,737	△338	49,399
セグメント利益	1,641	37	1,678	54	1,732	—	1,732

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間より、新たに取得した有限会社紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である株式会社熊野路の株式を追加取得しましたことから、負ののれん発生益(特別利益)を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては19百万円であります。

(その他の情報)

当社グループは、連結売上高の合計に占める国内の外部顧客への売上高の割合が90%を超えております。また、海外売上高は連結売上高の10%未満であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

記載すべき事項はありません。